

キリストが すべて

vol. **172**

April 2023

東京基督教大学大学報
Tokyo Christian University
Magazine

CONTENTS

02 特集 寮生活

04 卒業生の証し

06 教員の日／教員著書紹介

07 韓国異文化実習報告

08 TCU News

10 卒業生インタビュー

11 information



特集 寮生活

寮のお部屋紹介

TCUの寮生活をご紹介します。「神を愛し、人を愛せよ」をモットーに、学生主体で運営されている学生寮。TCU生活の醍醐味でもある寮生活の魅力をお伝えします。

TCUの寮とは

TCUには独身者向けの男子寮・女子寮・シオン寮、そして、既婚者向けの家族寮があります。男子寮・女子寮は基本的に二人一部屋、シオン寮は4つの個室に1つの共有スペースがあるユニット型の寮です。家族寮は、家族のサイズに合わせて3種類の間取りがあります。

男子寮



左：金 主栄さん(4年)
右：渡真利 文析さん(4年)

Q.1 お部屋のコンセプトは？

主栄 自分らしく自由にです！ウサギが好きなのでいろんなところにウサギがちりばめられています。部屋の家具もスペースをうまく使うため棚が机に対して斜めに配置しているのもお気に入りです。

文析 ぬいぐるみ動物園です。誕生日ごとに、学園の友人たちがくれたので、結果的にそうになってしまいました笑

Q.2 寮の良いところは？

主栄 いろんな話し相手がいることです。とくにお風呂ではいろんな人と深い話をしたり、響くので気持ちよく歌ったりするのが楽しかったです。

文析 人見知りでも、朝昼晩ずっと一緒なので、友人たちと深い人間関係を築けます。すごく楽しかったです。

Q.3 これからTCUに入ることを考えている方に一言

主栄 中庭が最高です。フリスビーをしたり、日向ぼっこをしたり、祈祷会があったり、賛美をしたりとても居心地のいい場所です！

文析 今後の自分の生き方に関わる、かけがえのない時間になると思います。ぜひ、TCUへ！

女子寮



左：中西 聖実さん(1年)
右：Leivang Chinthian Hoiさん(2年)

Q.1 お部屋のコンセプトは？

Chin Peace in the chaos
聖実 Happiness and joy!!

Q.2 寮の良いところは？

Chin Living with people who have their own habits. It is interesting to see how we all try our best to work and live together as a community.

聖実 幸せや喜びをシェアできること。ルームメイトや寮生から手紙やお菓子も沢山もらえます。

Q.3 これからTCUに入ることを考えている方に一言

Chin Let's do our best together !
一緒に頑張りましょう！

聖実 朝から夜まで語り合い、ふざけ合い、祈り合える友達と出会えます！

寮運営委員会の働き

寮運営委員会の働きは、寮生が安心して生活ができるよう務めることです。そのため何が必要か見極め、判断することが求められます。主の御心に適った判断をするためにたくさんの話し合いを重ね、互いに祈り合い、まずは信頼関係を築くことを大切にしました。そうすることで、次第に難しい問題にも力合わせて対処できるようになったり、寮生からの信頼も得るようになり、チームとして成長することを経験させていただきました。



2022年度女子寮長
竹沢 めぐみさん(4年・前列中央)

シオン寮

4つの個室と1つの共同スペースのあるユニット型の寮



左から 後藤みなとさん、武藤優奈さん、
小岩乃恵留さん、渡部息吹さん(全員4年生)

Q.1 シオン寮のよいところを教えてください。

シオン寮を一言で表すと「中々いいシェアルーム」です。特に交わりは中々濃いものです。最大4人まで住めるシオン寮は個性溢れる部屋で、信仰から恋愛まで多岐に渡って熱く語られる1番の住まいだと思います！

Q.2 これから TCU に入ろうとしている人に寮生活をおすすめする一言を！

寮生活と聞いて堅苦しさを連想するかもしれませんが、実際は思ったより自由な住まいです。部屋でのんびり過ごすもよし、語り合うもよし、泣き合うもよし！ユニークで、ちょっと刺激的な生活を過ごしてみませんか？

家族寮

既婚者のための寮。家族のサイズに合わせて3種類の間取り

TCUの家族寮の良いところは、校舎と近いところです。独立した居住空間にあって、家族のプライベートは守られつつ、学業と両立できるので、家族の歩みへの配慮が感じられます。



独身寮の学生たちとも、授業や同学年のチャペル、他の寮との懇談会を通して良い関係を築いています。

家族寮の中の交わりも充実していて、家族寮の祈祷会(毎週)、学生の配偶者と教職員が参加するパートナーの会が行われています(月一回)。これからは家族寮のクリスマス会やピクニックを再開する予定です。ぜひ、家族寮で共に学びましょう。

呉 載炫さん(4年)



寮 FESリポート

「寮 FES2023 冬」開催！

大村かなで(神学専攻3年)

1月末に寮 FES 2023 冬を行いました。TCUの寮生活において、新型コロナウイルスの影響で絶たれた交わりを主にあって深めたいという、寮運営委員の願いから実現しました。

3年ぶりのオープン寮と秋に計画していたけどできなかった運動会。待ちに待った日でした。祈って信頼して迎えた当日、グラウンドには雪がうっすら積もっていましたが、午後にはカラッと乾き、最高の天気を備えてくださった神様でした。

女子寮に足を踏み入れ、こたつに喜ぶ男子寮生の笑顔がとても輝いていて、男子寮で歓迎される女子寮生の笑顔がとても可愛かったです。またやりたい!楽しかった!という声が多くあり、私たちの中心に神様がいてくださるからこそ喜びにあずかることができ感謝です。



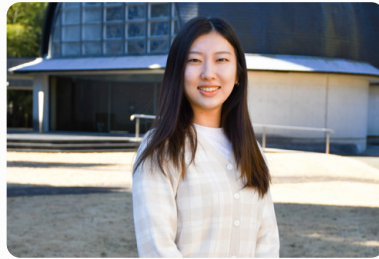
※学年は2022年度の学年です

TCUでの 学びを終えて

3月に卒業・修了した学生たちの証しをお届けします。経歴も年齢も多様な卒業生の証しを、ぜひお読みください。
そして、4月からそれぞれ新しい歩みに踏み出した卒業生のために引き続きお祈りください。



TCU4年間を 振り返って



国際キリスト教学専攻
後藤みなと

TCUの卒業を間近にして日々思っているのは、「まだ卒業したくないなあ」ということです。

そう思うほどに楽しくて、思い出深い一日一日を過ごしました。

寮生活、シオン祭、夏期伝、スプリング・リトリート、祈祷会、実習教会、留学生活、日々の授業、中庭や体育館で遊んだこと・・・挙げるとキリがありません。

これらの楽しい思い出と同じくらい、大変なことや、苦しいこともありました。コロナ禍の影響で、思い描いていた大学生活を送れなかった部分も多くあります。

それでも、TCUの学びや生活を通して、楽しいこと、大変なこと、コロナ前、コロナ禍の全ての中に神様が働いてくださっていて、全てのことが神様をより深く、広く知るためのものであったとより強く実感することができました。

そして、「まだ卒業したくないなあ」と思うと同時に、春からキリスト者として放送伝道の場で福音宣教のために働けることに心から期待しています。これからをそう期待できるほど神様の恵みと学びに満ちた学活でした。

主とともに歩む恵みを 伝えていきたい



キリスト教福祉学専攻
安孫子 真林

私がTCUを入学する時は、「努力して学べば、誰かを助けることができる」と、思っていました。それは「今の自分は、意欲はあるのに知識がないから人を助けられない」と思っていたからです。しかしどれだけ知識が増えても、実習先の目の前で苦しんでいる人に、私は何もできないことを知りました。何のために学んできたのかと落胆し、一度は福祉への道を諦めようと思いました。

しかし、私はTCUで知識だけを身につけていたわけではありません。人の無力さ、知識の儂さの先にある、神様の偉大な力と希望を同時に学んでいました。この小さな私でも主は用いられる喜びを知りました。それは私が信仰に向き合えない時でも、神様を授業や友人や先生方から感じることができるTCUだったからです。

今の私は知識だけではなく、主と共に歩む人生の恵みをも学びました。これからはその喜びと希望を、福祉を通して多くの人に伝えていきたいとします。



「Stand in the Gap 破れ口にキリストの平和を」

追ってきた 確かな恵みの時。



教会教職専攻
渡邊 愛結

TCUの4年間を振り返ると、神様はいつもその御愛をもって私自身を訓練し慰め、癒し、そして励まし続けてくださったことを思われます。そして、その様な時を「苦しい〜」「楽しい〜」「私たちクリスチャン本当DMだよ〜」などと言いながら、神様から与えられる一つ一つの“むち”と“杖”を「私の慰めです」と共に告白できる信仰の友を近くに置いてくださったこともまた大きな恵みです。自分の力ではこなせるはずがないと思うようなことを神様から「やりなさい」「若いというな」と言われる時、試練と共に必ず脱出の道を備え、助け手を送り続けて下さった4年間でした。この4年間を通して何が成長できたかと言われると、果たして成長できたのだろうか。さらに成長させられたいと願わされるばかりで、成長できたとはとても言えませんが、これから備えられる試練や苦難の中に生きて働かれ、救いの手を差し伸べ続けてくださる主に感謝し期待します。卒業後はTCUの大学院に進みます。

「まことに私のいのちの日の限り、慈しみと恵みが私を追って来るでしょう。私はいつまでも主の家に住みます。」詩篇23編6節



悩み続けること



大学院修士課程
福島 慎太郎

「一番大切なのは悩み続けること」。それをTCU生活で実感しました。学部生時代、TCU内でたくさん運営に携わりました。わわわクラブ、クリスマス刑務所ボランティア、男子寮...etc。また卒業論文も優秀賞を頂きました。その自信をもって大学院では他教派・他宗教、ヨーロッパの教会、ホームレスやDV家庭の子どもたちへの支援など様々な場所で働きました。しかしそこで気づいたことは「聖書の言葉が響かない」という現実でした。何度も聞いてきた「イエスは救い主」、「全ての傷は癒される」。それは目の前で傷ついている人、国籍の違うホームレスの方には何も響きませんでした。

しかしイエスはどうであったでしょう。彼は言葉よりも先にその人たちと「共に生きる」存在であったと思います。今私は、そこにこそ神の国が生まれるのだと信じています。何が正解か分からない、だけど今日も誰かの隣にいたい。

そのため卒業後は第一線での支援として福祉施設、同時にキリスト教と社会の潮流を学ぶために出版社で勤務し、神奈川県内の教会で伝道師に就任する予定です。



さあ、今でしょ!



教会音楽専攻科
井上 ナオミ

オルガンを上手に弾けるようになりたくてパイプオルガンのあるTCUの門を叩きました。教会音楽専攻科の2年間では、教会での礼拝音楽を歴史的に学び、先生が実際に弾きながら作品の歴史を説明して下さると言う贅沢な授業を受けました。

20代の頃、一度聖書学校に入ったことがあります。その年に母親が病に倒れ、私は家に呼び戻されました。そのまま再び学校に戻る機会は無いまま40年が経ちました。病の中にあつた母は亡くなり、その後このチャペルで結婚式を挙げた夫も亡くなり、こんな素晴らしい環境に置いてくださいと、願ったことは一度もありませんでしたが、独り身になった私に神様は「さあ、今でしょ!」と勉強する機会を与えて下さったのだと思います。



教員の一日

Vol.8

齋藤五十三先生

今回は齋藤^{いそみ}五十三先生（組織神学など担当）の一日を紹介します。いつも学生に寄り添い、ご自身の牧師・宣教師としての経験を活かして、教会教職をめざす学生を励ましている齋藤先生の一日は、



6:00 起床
[朝の時間のルーティン]
・妻と二人で詩篇を読む

7:00
TCU に出勤して
早天祈祷会（火・木）に参加

8:00 授業準備

8:40 午前の授業



11:20 チャペルで礼拝

11:50 食堂でランチ



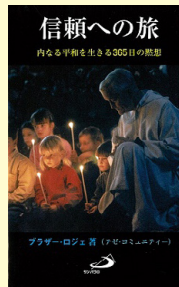
13:00 授業
16:00 授業が終われば研究



18:00 帰宅
[帰宅後にしていること]
・提出物へのリアクション
・採点
・オンライン神学読書会（週1～2回）
・余った時間で読書

23:00 就寝

Q. 最近読んでいる本を教えてください。



ブラザー・ロジェ著
『信頼への旅』
(サンパウロ、2012年)

朝、研究室に入つてまず最初に読む本。自然な祈りに入って一日を始められます。お勧めです！

Q. 最近ハマっているアプリは？



Seven minutes workout というアプリです。

学生から教えてもらって以来、3年以上愛用しています。短時間で体力づくりができ、体幹も鍛えられるので GOOD です。

教員著書紹介



岡村直樹先生の著書『日常の神学 今さら聞けないあのこと、このこと』が出版されました。

洗礼式って何？ みこころってどうわかるの？ 献金の意味は？ クリスマンになっても実は知らなかった教会のこと、信仰生活のことで「今さら聞けない」ようなことを取り上げています。

若い世代や洗礼を受けたばかりの人から、信仰歴〇十年という人まで読める内容が詰まった一冊です。

『日常の神学 今さら聞けないあのこと、このこと』

岡村直樹 著 いのちのことば社
定価 1,650円 (本体 1,500円＋税)

2/18
Sat.



出版を記念して、2月18日にお茶の水クリスチャンセンターで出版記念会を開催しました。40名ほどが詰めかけて、岡村先生の講演、学生2名とのトークセッションに耳を傾けていました。



山口陽一学長の新刊

『近代日本のクリスチャン経営者たち』

山口陽一 著
いのちのことば社
定価 1,100円 (本体 1,000円＋税)

カネボウ、リタケ、森永製菓、白洋舎・・・本書では、明治以降の近代日本で活躍した20人以上のクリスチャン経営者の足跡をコンパクトにまとめて紹介します。未知の分野を果敢に切り開いた姿は、閉塞した現代に生きる人々に、新たなスタートへの示唆を与えてくれます。

韓国異文化実習報告



3ヶ月間の異文化実習はとても濃く、恵みに溢れた時間でした。韓国と日本は近隣国ですが、言語、文化、歴史などさまざまな違いがあります。全く違う生活環境に身を置くことは、私にとって必要な時間でした。



主日には様々な教会に行き、一度、ろう教会で賛美・礼拝を捧げました。そこでの交わりはとても恵みにあふれていて、言語は違えど、心で繋がることはできると気付かされました。同じ神さまを信じ、身をもって日本のために祈ってくださっている方が沢山いることを知り、私も韓国のために祈り続けていきたいと強く思われました。

国際キリスト教学専攻3年 湯本光

TCU News

2023.1～3



木内伸嘉教授が退任



1986年東京基督神学校教員としての着任以来、長きにわたり専任教員としてご貢献くださり、また、神学科長、神学部長、学長、図書館長などを歴任されました。2023年度も引き続き非常の特別教授として教育にあたってくださいます。

新入職員紹介

2023年4月から2名の新入職員が加わりましたので紹介いたします。田中秀亮さんは、キリスト者学生会の主事、香川県の教会の牧師を務め、新しくTCUでの働きに加わりました。金主栄さんは、3月にTCUを卒業したばかりの新卒職員です。賜物が生かされ、チームTCUとして教職員の働きが用いられますようお祈りください。



右: 田中秀亮 所属: 総務部
「TCUで新たな一歩を踏み出しました。どうぞよろしくお願いいたします。」

左: 金主栄 所属: 学生部
「学生から職員へ、場所は変わりますが気持ちは一新して皆さんにかかわっていきたいと思います。よろしくお願いいたします。」

2023年度学生数

2023年度は58名の新生入・編入学生を迎え、神学部123名、大学院43名、総勢166名でスタートします。

神学部	1年	2年	3年	4年	合計
総合神学科	17	21	42	-	80
国際キリスト教福祉学科	-	-	1	9	10
神学科	-	-	-	33	33
合計人数	17	21	43	42	123

神学研究科神学専攻	1年	2年	3年	合計
博士前期課程（修士課程）	23	12	-	35
博士後期課程（博士課程）	1	3	4	8
合計人数	24	15	4	43

お知らせ

夏期伝道について

今年度の夏期伝道は3年ぶりに日本全国の教会への派遣をめざし募集をいたしました。期間は7月8日(土)～17日(月)の11日間。

教会の募集は、すべてインターネット上で行われ2月27日に締め切りました。多数のご応募の中から10教会に学生を派遣する予定です。

夏期伝道の様子は、期間中TCU公式Facebookページにて更新されますので、ぜひ祈りながらご覧いただけましたら幸いです。

卒業礼拝

3/10
Fri.

神学部40名、大学院9名、教会音楽専攻科1名、合計50名が卒業・修了しました。対面で一人ひとりに卒業証書が手渡され、神さまが導かれた新しい所へ出発しました。卒業生代表の小岩乃恵留さん(国際キリスト教学専攻卒)は、TCUのモットーである「キリストがすべて」を引用し、「今日、私たちは東京基督教大学を卒業し、新しい環境に身を置くことになります。そのような変化の中においてこそ、すべてのうちにおられるキリストの臨在を信じ歩んでいきたいと思います」と挨拶しました。



2022年度卒業生・修了生の主な進路先

神学部卒業生

〈就職〉 一般財団法人 太平洋放送協会 (PBA)、一般社団法人 Education for Orphans、社会福祉法人めぐみの家 工房マナ、社会福祉法人聖隷福祉事業団、NPO 法人ホットスペース中原、社会福祉法人牧の原やまばと学園、株式会社みくに、株式会社ライフワークス社、東京基督教大学職員、高校生聖書伝道協会 (hi-b.a.)、W hospitality 株式会社、Japan Guide Agency 株式会社、日系人教会伝道師

〈進学〉 東京基督教大学大学院

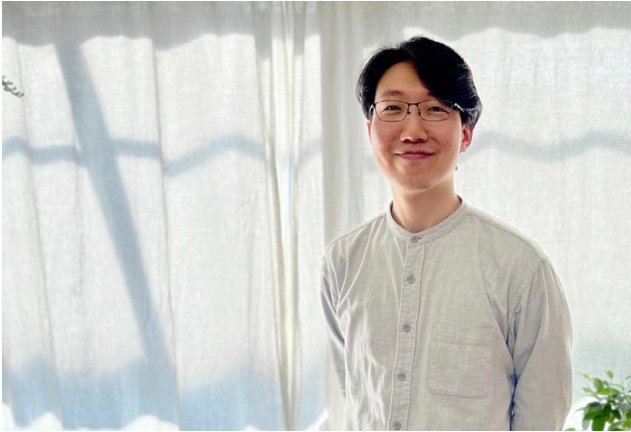
大学院修士課程修了生

社会福祉法人ピステイスの会、NPO 法人ホットスペース中原、勝田聖書教会、光風台キリスト教会、東京福音教会、日本同盟基督教団補教師、東京オンヌリキリスト教会



今回は、学部時代に男子寮の寮長を務め、2019年にTCU大学院を修了した金道均さん(塩尻聖書教会伝道師)に、寮生活を振り返っていただきました。

金道均 キム・ドギョン | 塩尻聖書教会伝道師



TCUの寮生活、特に寮長をやる中で、ご自分が成長したと思うことはどんなことですか？

寮生活のおかげで「自分にできることを見定め、それに取り組む力」が身についたと思います。共同生活をすると、自分にできないことまでやろうとするなど、頑張りすぎてしまう時があります。以前経験した共同生活(2年間の兵役)の時もそうでしたが、寮生活が始まり、風呂場での語り合いにさえも馴染めずに浮いていた私は、また「何かやらねば」という焦りに悩まされていました。そのストレスで、結局胃腸のトラブルをわずらい二週間入院をしたほどでした。入院中、「自分にできることだけを」と心に決め、一緒に住む仲間たちのために「掃除」だけはできるだろうと思い、それに取り組むことにしました。その後、毎日掃除をしていただけなのに、いろいろな人と話す機会が増え、寮運営委員会の一員となり、男子寮の掃除システム改革にまでも携わるという不思議な経験をしました。

寮生活で思い出に残っているエピソードがあれば教えてください。

いくつかのことが重なり、寮生が互いへの不信感を募らせていた時期がありました。私たち男子寮運営委員会(以下、寮運)は大きな責任を感じていました。当時の男子寮主事の篠原先生と寮運とで話し合いを積み重ねても、なかなか解決策を見出せずにいました。そこで篠原先生の提案で、寮運は緊急集会を開き、状況説明や意見交換をする時間を設け、みなで心を合わせて祈る時を持つことにしました。しかし、1回目の集会后も状況は変わらず、2回目の緊急集会が開かれ、寮生たちの顔もやや暗かった記憶があります。ところが、その集会を通して、寮の課題を他人任せにせず、自分ごととして受け止め、かしらなるキリストを中心

に捉えようとする、寮生の熱い信仰に私自身圧倒されるような思いをしました。弱い人間の集まりではあるけれど、この寮もキリストをかしらとする神の家族であることを改めて教えられ、励まされる出来事でした。

寮生活の経験が今のお仕事や家庭生活に生かされていると思うことはどんなことですか？

私が仕える教会は2009年に開拓された小さな群れです。今は牧師館などで集会を行っており、家でもあり教会でもある、そんな暮らしの中で、家と教会の線引きが曖昧な場面が多々あります。物理的にも気持ち的にもそうです。しかし、その時に、寮生活で学んだことが生かされていると感じることがあります。寮もまさに自分と共同体の線引きが曖昧というか、ほぼないところで、開放しっぱなしもできなければ、閉じこもってばかりもできません。幸い、寮生活はその微妙なバランスを身につけるのに最適な場所でした。キリストを介して、仲間と時間を共有しながら喜びのうちに自由に語り合うこともでき、時には静かに一人で時間を過ごしながら、キリストとのつながり確かめることもできました。家族の間でも、教会の中でも、キリストを中心としたこのバランス感覚には大いに助けられています。



寮生活に不安を覚えている高校生や受験生に一言お願いします。

寮生活を満喫したある学生も「この寮…大丈夫？」との声をこぼすことができました。彼が卒業式代表挨拶で、「絶望」という単語を6回も語ったことを聞いた他の卒業生は「彼でもそうだったのか…めっちゃ励まされた」と言っていました。集団生活をする以上、どの人にもそれぞれの辛さがあります。ですが、その「欠け」は必ず誰かによって補われ、満たされます。皆さんにもぜひ、このキリストのからだの豊かさを味わっていただきたいです。

Open Campus 2023

5/12_金~13_土

一泊型
オープンキャンパス

7/22_土

来場型
オープンキャンパス

8/26_土

来場型
オープンキャンパス



9/22_金~23_土

一泊型
オープンキャンパス

10/9_{月・祝}

シオン祭
オープンキャンパス

10/21_土

教会教職課程 WEB
オープンキャンパス



事前申込特典

定期的に教会に通っている方で
当日の全プログラムに
参加した方には**交通費補助**
(前日までの申込)

宿泊費無料!

(5日前までの申込)
学内及び大学近郊のホテルを
ご用意いたします。

参加者特典

オリジナルグッズプレゼント!

お申し込みは
こちらから



TCUを支えてください

日頃から本学の教育と研究、そして学生生活をさまざまな形でサポートしていただき、ありがとうございます。

新型コロナウイルスの影響で制限されてきましたが、ようやく日常を取り戻しつつあります。

コロナ禍の中でも、学生たちは、「明日の世界宣教者」として、教会に仕える牧師や教会教職者、
様々な分野で活躍する信徒リーダーとなるために、一人ひとり、そして共同体として、祈り合い、
話し合いながら、懸命に、かけがえのない、神さまから与えられた今の時間を感謝して、
前向きに日々取り組んでいます。

そして、この春、また新たに、献身を志す学生が学び舎に加わります。

私たちにとって、みなさまのお祈りとお支えが何よりの励みです。

引き続き、学生たちが、このキャンパスで育てられ、遣わされ、神の国が広がっていきますよう、
祈り支えていただけましたら幸いです。

郵便振替口座

口座名：学校法人東京キリスト教学園
明日の世界宣教者育成募金
銀行口座：00110-5-575648

振込先

口座名：学校法人東京キリスト教学園
明日の世界宣教者育成募金
銀行口座：千葉興業銀行千葉ニュータウン支店
普通 1737541

支援会
ウェブページ



どこでも TCUエクステンション



「信徒の神学—『信徒』再考—

講師 篠原 基章 (東京基督教大学教授)

「信徒の神学」とは信徒のためのわかりやすい神学ではなく、信徒とは何かを神学的に問うことです。いうなれば「信徒の神学」は、信徒のアイデンティティを問い直すことだといえます。信徒理解を問い直すことで、教会はより本来の姿を取り戻すことができると考えています。教職者も信徒も共にこのテーマについて考える機会になることを願っています。



時間 11:00 ~ 12:00

第1回 6/17⁺ 「信徒」再考—信徒の神学—

第2回 6/24⁺ 「信徒」の召命—この世にあるキリスト者—

第3回 7/1⁺ 「働くこと」の意味—仕事の神学—

第4回 7/8⁺ 「日常」に生きるキリスト者—日常の神学—



※有料のリアルタイムオンライン講座です。
※欠席の場合は、アーカイブ(録画)をご視聴いただけます。詳細はウェブサイトにて。



料金 一般:5,000円 支援会員:3,500円

申込締切 5月19日^金

主催・問い合わせ 教務部 どこでも TCU エクステンション係
awextension@tci.ac.jp

教会音楽アカデミー公開講座

事前
申込制

パイプオルガンさん こんにちは Vol.22
～パイプオルガン組み立てショー in 千葉～

入場無料

全自由席

5/20⁺ 13:00 開場 後日オンデマンド配信あり
13:30 開演

出演 オルガン組立・解説:マテュー・ガルニエ(オルガンビルダー)
オルガン演奏:宇内千晴・内藤真奈(本学講師)

場所 東京基督教大学チャペル

お申込 teket サイトから → <https://teket.jp/4123/19971>
4月20日^金10:00より申込開始(入場定員数は申込開始時に公表)



有料

2023年度第1回公開講座

「歌いやすさにこだわった!ピアノで簡単にできる礼拝の会衆賛美の伴奏法」

6/12^日 受講料 レッスン生 2,500円(支援会員 2,000円)
13:10~15:30 聴講生 1,500円(支援会員 1,000円)

お申込・詳細 大学ウェブサイトにて(随時更新)

FCC世界宣教講座

6/6^火-7^水

テーマ 「神を主とし、隣人を愛する
～グローバルな宣教で共に成熟を目指して～
(バングラデシュ・インド編)」

講師 柳沢 美登里
(カンバーランド長老キリスト教会高座教会
メンバー・信徒宣教師、日本ローザンヌ委
員会委員)

場所 東京基督教大学

問い合わせ・連絡先 0476-46-1131
(世界宣教講座委員会)

新着動画 「TCU、私が成長する大学。」

年度末に行われた卒業予定者と担任教員の卒業面談。そこで語られる言葉は、4年間の学びと生活で得た「成長」の証しです。



新刊のお知らせ

『礼拝・音楽研究』第72号 特集:牧師と礼拝音楽

牧師から観た礼拝音楽/救世軍の音楽/教会に必要な音響・映像・配信/オルガンマスタークラス/その他、講演・説教記録など、充実した内容です。是非ご購入ください。

好評発売中!!

価格:1冊 1,100円
(税込み/送料・振込手数料別)

問い合わせ

教会音楽アカデミー
0476-46-1131
music@tci.ac.jp



東京基督教大学
TOKYO CHRISTIAN UNIVERSITY